

リンパ浮腫とは

- (1) リンパ浮腫とは
 - (2) リンパ浮腫の症状
 - (3) リンパ浮腫の治療
-

(1) リンパ浮腫とは

リンパ浮腫とはリンパ管の働きが何らかの原因で障害されることにより、皮膚組織のある部分に体液が溜まってむくみが起こる疾患です。患者さまやそのご家族がリンパ浮腫について正しく理解することで、疾患同様、予防したり早期発見でき、重症化を防ぐことができます。

リンパ浮腫には、一次性リンパ浮腫（先天性あるいは原因不明のリンパ浮腫）、二次性リンパ浮腫（リンパ節の切除など、明らかな原因のあるリンパ浮腫）があり、ほとんどは二次性のリンパ浮腫です。二次性のリンパ浮腫は、がんの手術でリンパ節切除した人や放射線治療を受けた人の25～30%を占めると言われています。発症時期も治療後、半年未満から10年以上経過し発症するケースとさまざまです。

リンパ浮腫をそのまま放置しておくと日常生活に支障を来したり、免疫機能の低下から細菌感染などの合併症の危険が高まります。また浮腫が重傷化すると外見の変化より強いストレスを感じ、うつ状態になることもあります。

(2) リンパ浮腫の症状

リンパ浮腫の症状は、腕や脚のむくみがほとんどですが、脚のむくみに伴い下腹部や外陰部にも出現することがあります。腕のむくみは方側（乳がんの場合、リンパ節をとった胸の上肢）のケースがほとんどで、両側性乳がんの手術後でも片腕にむくみが出ることもあります。

婦人科がんや前立腺がんの手術後にも片脚にむくみが出る場合が多く、左右比較すると、左脚に出るケースが多いといわれていますが、その原因はハッキリとわかっていません。中には、両脚にリンパ浮腫が出現するケースもあります。

リンパ浮腫では痛みや皮膚の色の変化はほとんどありませんが、むくみが急速に進行した場合は、皮膚の突っ張る感じやしびれを感じることもあります。リンパ浮腫がゆっくりと進行し悪化すると、皮膚が固くなりざらついた感じや毛深くなることもあります。

(3) リンパ浮腫の治療

リンパ浮腫の治療には

- ①スキンケア
- ②リンパドレナージ
- ③圧迫療法
- ④圧迫下での運動療法

があります。

4 つの治療を中心に行うことによりリンパ浮腫を軽減し、維持することができます。治療方法については自己判断することなく、リンパ浮腫の重症度にあった正しい治療法の選択が大切です。まずは、医療機関で相談しましょう。

患者さまから「リンパ浮腫は完治できますか？」と質問されることがあります。残念ながら完治はないかもしれませんが悲観することなく、症状と上手に付き合えば、趣味や仕事など日常生活の質を落とすことなく過ごすことも可能です。